

== 三角形の面積 ==

(1) 三角形の面積(小学校で習う基本公式)

右図1のような三角形の面積は、いずれも
 $(\text{底辺}) \times (\text{高さ}) \div 2$
 で求められます。
 次のように分数の形で書くこともできます。

$$(\text{面積}) = \frac{(\text{底辺}) \times (\text{高さ})}{2}$$

(1) 2で割ることを忘れる答案が多いので注意しましょう。

右図2の三角形の面積は、 $4 \times 3 = 12$ ではなく、
 $4 \times 3 \div 2 = 6$ になります。

(2) 高さは必ず底辺に垂直(直角)な線で測らなければなりません。

右図3の三角形ABCで、底辺BCに対する高さは6
 になりますから、面積は $5 \times 6 \div 2 = 15$ になります。

(3) 見かけ上は複雑な図形でも「三角形の面積を引く」と面積
 が簡単に求まることがあります。

右図4の多角形ABCDEは長方形ABCFから三角
 形DFEを取り除いたものになっているから、その面積
 を求めるには：

長方形ABCFの面積 $4 \times 5 = 20$ から
 三角形DFEの面積 $3 \times 4 \div 2 = 6$ を引いて
 14になります。

右図5の三角形ABCは正方形から3個の三角形を
 取り除いたものだから、その面積は $16 - (2+4+4) = 6$
 になります。

右図6の凹四角形ABCDは三角形ABDから三角
 形BDCを取り除いたものだから、その面積は

$$\frac{6 \cdot 4}{2} - \frac{6 \cdot 2}{2} = 12 - 6 = 6 \text{ になります。}$$

(4) 縮尺図を用いて表しているときに実際の図形の面積を求
 めるには、各辺の実際の長さを求めてから計算しなければなり
 ません。

右図7は実際の地形で500(m)に相当する長さを
 1(cm)で表した設計図だとします。このとき、実際の地
 形で三角形ABCの面積を求めるには：

$$BD = 3 \times 500 = 1500 \text{ (m)}$$

$$AC = 4 \times 500 = 2000 \text{ (m)}$$

三角形ABCの面積は

$$1500 \times 2000 \div 2 = 1500000 \text{ (m}^2\text{) になります。}$$

(5) 面積と底辺が分かれば高さを求めることができます。

$$(\text{面積}) = \frac{(\text{底辺}) \times (\text{高さ})}{2}$$

$$\rightarrow (\text{高さ}) = \frac{2 \times (\text{面積})}{(\text{底辺})}$$

同様にして、面積と高さから底辺を計算することもできま
 す。

$$\rightarrow (\text{底辺}) = \frac{2 \times (\text{面積})}{(\text{高さ})}$$

右図8において三角形ABCの面積は
 $9 \times 12 \div 2 = 54$ です。

一方で、ACを底辺と見ると、三角形ABCは面積と
 底辺が分かっていることになり、

$$54 = 15 \times BD \div 2 \text{ より } BD = 7.2$$

図1

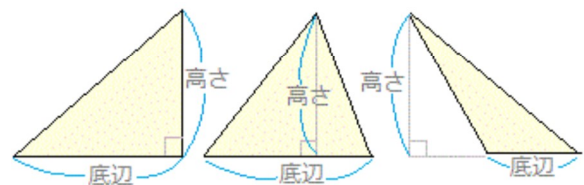


図2

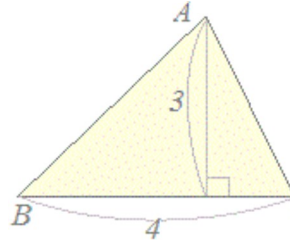


図3

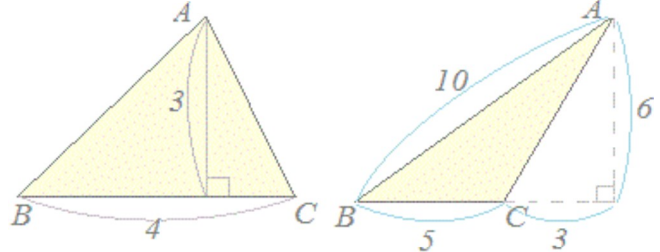


図4

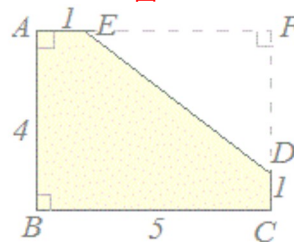


図5

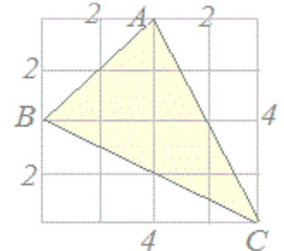


図6

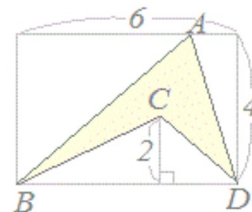


図7

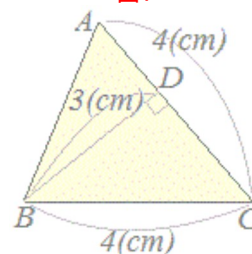
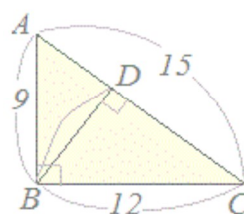
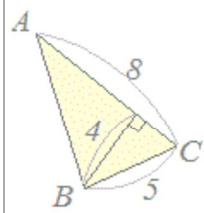


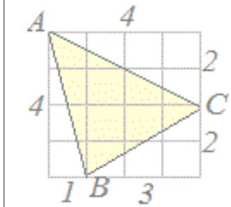
図8



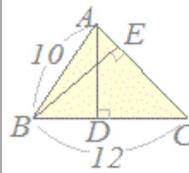
《問題1》 各々正しいものを選択肢から選んでください。



(1) 左の△ABCの面積は
10 16 20 32 40



(2) 左の△ABCの面積は
2 6 7 9 12



(3) 左の△ABCの面積が48であるとき、ADの長さは

6 8 10 12 14

(II) 三角形の面積の比

三角形の面積は

$$(\text{底辺}) \times (\text{高さ}) \div 2$$

で求められますので、(底辺)の長さが等しい2つの三角形の面積の比は(高さ)の比に等しくなります。

(高さ)が等しい2つの三角形の面積の比は(底辺)の比に等しくなります。

右図9において三角形ABCとBCDとは、底辺BCの長さが等しいから、
 $\triangle ABC = BC \times 5 \div 2$
 $\triangle BCD = BC \times 3 \div 2$
 それらの面積の比は、 $\triangle ABC : \triangle BCD = 5 : 3$ になります。

(BCの長さが書いてなくても、面積の比は求められます。)

右図10において三角形ABCとCDAとは、高さhが等しいから、
 $\triangle ABC = 4 \times h \div 2$
 $\triangle CDA = 7 \times h \div 2$
 それらの面積の比は、 $\triangle ABC : \triangle CDA = 4 : 7$ になります。

(高さhが書いてなくても、面積の比は求められます。)

右図11においてABCDはAD/BCの台形とする。このとき、三角形ABDとBCDとは、高さが等しいから面積の比は底辺の比に等しく、3:5になります。

右図12においてABCDはAD/BCの台形とする。このとき、三角形ABCとBCDとは、底辺が共通で高さが等しいから面積が等しい。次に、共通に含まれる三角形BCEを取り除くと、三角形ABEの面積と三角形CDEの面積は等しくなります。

これらの面積が等しいのは、AD/BCのためであり、ABとDCは平行でないから、三角形AEDの面積と三角形BCEの面積は等しくない(AD ≠ BCである限り、等しいとは限らない)。

(III) 斜辺の比と高さの比

右図13のように、2つの三角形の辺が1つの斜辺上にあるとき、これらの三角形の高さの比は斜辺の長さの比に等しくなります。

右図13において△BEDと△BFAは相似だから、
 $AF : DE = AB : DB$

右図14において△DEGと△DFAは相似だから、

図9

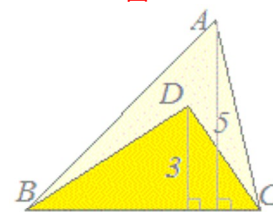


図10

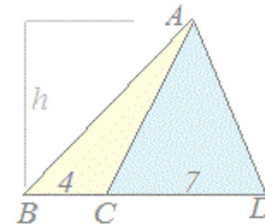


図11

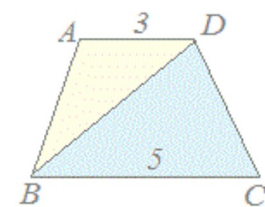


図12

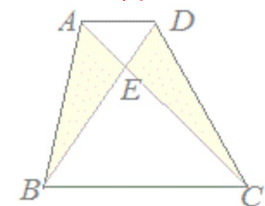
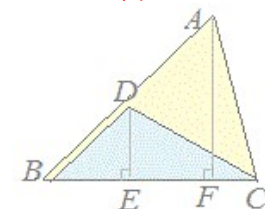


図13



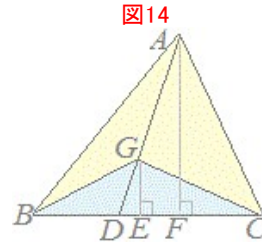
$$AF:GE=AD:GD$$

この性質により三角形の面積比について、次のことがいえます。

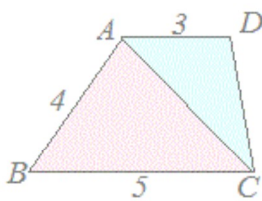
右図13において $\triangle BCD$ と $\triangle BCA$ は、底辺が共通だからそれらの面積比は高さの比に等しく、 $DB:AB$ に等しい。

右図14において $\triangle BCG$ と $\triangle BCA$ は、底辺が共通だからそれらの面積比は高さの比に等しく、 $GD:AD$ に等しい。

図14



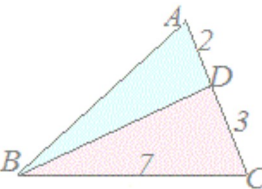
《問題2》 各々正しいものを選択肢から選んでください。



(1) 左図において四角形 ABCD が $AD \parallel BC$ となる台形であるとき、三角形 ADC と三角形 ABC の面積比を求めてください。

$$\triangle ADC : \triangle ABC =$$

3:4 3:5 3:7 4:15 5:7



(2) 左図において $\triangle ABD$ と $\triangle BCD$ の面積比を求めてください。

$$\triangle ABD : \triangle BCD =$$

1:3 2:3 3:5 5:7 6:7

(IV) 1つの角が共通であるときの三角形の面積の比

右図15のように、2つの三角形について1つの角が共通であるとき、これらの三角形の面積の比は共通な角を挟む2辺の積の比になります。

右図15において $\triangle BED$ と $\triangle BCA$ の底辺(BC上にとるものとする)の比は、3:7

また、高さの比は2:5だから

$\triangle BED$ と $\triangle BCA$ の面積の比は $3 \cdot 2 : 7 \cdot 5 = 6 : 35$

($\triangle BED$ や $\triangle BCA$ の面積が6と35になるということではない。それらの比が求まるということ。)

右図16において $\triangle BCE$ と $\triangle ACD$ の底辺の比は、13:7、高さの比は3:5だから、 $\triangle BCE$ と $\triangle ACD$ の面積の比は39:35

図15

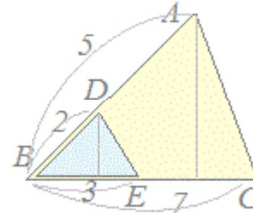
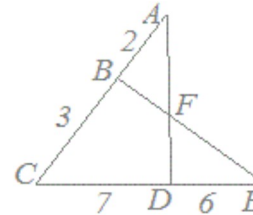
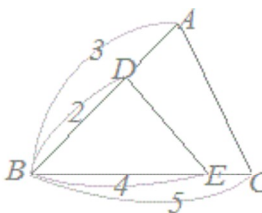


図16



《問題3》 各々正しいものを選択肢から選んでください。



(1) 左図において三角形 DBE と三角形 ABC の面積比を求めてください。

$$\triangle DBE : \triangle ABC =$$

2:3 3:4 3:10 4:5 8:15

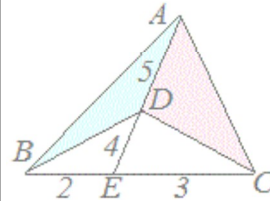


(2) 左図において $\triangle ABP$ と $\triangle BCP$ の面積比を求めてください。

(3) 左図において $\triangle ABD$ と $\triangle CAD$ の面積比を求めてください。

$$\triangle ABD : \triangle CAD =$$

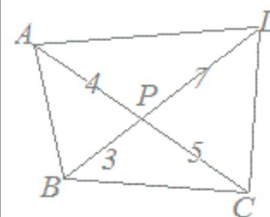
2:3 3:4 4:5 5:6 8:15

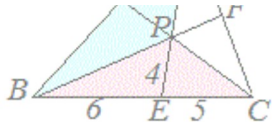


(3) 左図において $\triangle ABP$ と $\triangle CDP$ の面積比を求めてください。

$$\triangle ABP : \triangle CDP =$$

3:7 4:5 7:12 12:35 15:28





$$\Delta ABP : \Delta BCP =$$

6:5	7:4	7:11
21:10	21:22	